

令和元年度「まっかりみらい会議」(生涯学習推進講座) 開催要項

- 1 目 的 参加する地域住民が、話し合うことの大切さや有意義さを体験することで、地域住民の当事者意識を高め、多くの地域住民がむらづくりに参加しようとする機運を醸成する。
- 2 主 催 真狩村 真狩村教育委員会 北海道立生涯学習推進センター
- 3 会 場 真狩村役場
- 4 実施日 令和元年11月11日・12月18日・令和2年2月5日(計3回)
- 5 参加対象 真狩村民、真狩村民ではないが真狩村に就業、進学している方
- 6 参加者 各回20名程度
- 7 日程及び研修内容

【第1回 まっかりみらい会議】テーマ『むらの魅力について』

18:00 18:30		18:35		20:20		20:30	
1回目 11月11日 (月)	受付	説明 「真狩村総合計画策定のための みらい会議の位置付け」 真狩村企画調整係長	協議(グループ) 「真狩村の今、魅力や課題の整理 ～むらの魅力を再確認～」 真狩村企画総務課職員及び業者 生涯学習推進センター職員		まとめ		

- 説明 …前年度のまっかりみらい会議の内容と本年度のねらいについて説明する。
- 協議 …真狩村の魅力を確認し、真狩村に必要なこと(課題)を出し合う。
※メンバーが一新することも考え、前回までの整理と再度、村の魅力や課題を出し合う。
- まとめ …各グループで出した課題を全体で共有し、次回のテーマを確認する。

【第2回 まっかりみらい会議】テーマ「魅力を活かしたまちづくり」

18:00 18:30		18:35		20:20		20:30	
2回目 12月18日 (水)	受付	説明 「前回のふりかえりと第2回会議 テーマについて」 真狩村企画調整係長	協議(グループ) 「真狩村のまちづくり ～魅力や課題の活用法～」 真狩村企画総務課職員及び業者 生涯学習推進センター職員		まとめ		

- 説明 …第1回会議の内容をふりかえり、第2回会議テーマを確認する。
- 協議 …前回、各グループから出した魅力や課題を活かしたまちづくりのために必要なことを出し合う。(行政の役割、地域住民の役割を整理する。)
- まとめ …各グループが出した解決策を全体で共有し、次回のテーマを確認する。

【第3回 まっかりみらい会議】テーマ「プロジェクトを動かそう」

18:00 18:30 18:35		18:45		20:10		20:30	
3回目 2月5日 (水)	受付	説明 「前回のふりかえりと第3回会議 テーマについて」 真狩村企画調整係長	協議(グループ) 「あなたができるまちづくり ～地域住民ができること～」 真狩村企画総務課職員及び業者 生涯学習推進センター職員		まとめ		

- 説明 …次期総合計画へ意見反映していくことと、第3回会議のテーマを確認する。
- 協議 …まちづくりを行う上で地域住民(自分達)ができることを出し合う。
- まとめ …各グループが出した「プロジェクト」を全体で共有する。来年度から取り組めることを確認する。

1 講座概要

日 時	令和元年 11 月 11 日(月) 18:30~20:30
会 場	真狩村役場
運 営	真狩村総務企画課企画調整係係長 松枝 主範 (株)日本コンサルタントグループ 研究員 中村 桂 道立生涯学習推進センター 主査 久末 考勇
参加人数	20 名



【説明の様子】

2 プログラム概要

- 開 会
- 説 明「真狩村総合計画策定のためのみらい会議の位置付け」

説明者 真狩村総務企画課企画調整係係長 松枝 主範

- 協 議「真狩村の今、魅力や課題の整理～むらの魅力を再確認～」
- 進 行 (株)日本コンサルタントグループ 研究員 中村 桂

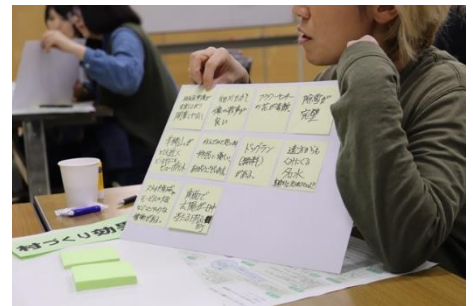


【グループ協議の様子】

3 講座内容と参加者の様子

まっかりみらい会議は、真狩に住んでいる人、働いている人や真狩に興味のある人などが対話を通じて、お互いの考えを尊重しあい、真狩村の未来や地域課題を共有し、住民の自主的・主体的なまちづくりへの参画の推進を目的として開催しました。今回の未来会議は、真狩村総合戦略や真狩村総合計画の策定にあたり、意見反映する目的もあり、昨年度の開催結果を踏まえ、「真狩村の魅力について」グループに分かれて協議を行いました。参加者の自己紹介後、終始、和やかな雰囲気の中でグループ討議がなされ、自由な意見交換の中から魅力を発掘し、魅力を活かす方法や効果をグループごとに発表し、全体で確認することができました。

最後に次回開催日を確認し、閉会しました。



【グループ内発表の様子】

4 アンケートの結果

事業の効果を測るため、項目に沿ってアンケートを事前と事後実施した。尺度として、【とても関心がある 4 3 2 1 全く関心がない】の中で数値を選択する方法でその平均値を示している。

昨年度も「みらい会議」を5回実施していることから、事前アンケートでは、すべての項目で、参加者のまちづくりへの関心が高いことが分かる。

すべての項目で、事前アンケートよりも0.1~0.2ポイント高くなっていることから、第2回、第3回と参加していただくことで地域づくりに協力可能な人材の掘り起こしにもつながっていくことが期待できる。



【グループ発表の様子】

	項目	事前	事後
1	真狩の未来に対する関心	3.7	3.9
2	まちづくりに参加したい気持ち	3.6	3.7
3	地域住民が主体的に活動することの必要性	3.6	3.7
4	役場と住民が協働することの必要性	3.6	3.8
5	地域住民が地域の未来を話し合うこと の必要性	3.7	3.9

数値は参加者 20 名の平均値 (小数第 2 位を四捨五入)

1 講座概要

日 時	令和元年 12 月 18 日(月) 18:30~20:30
会 場	真狩村役場
運 営	真狩村総務企画課企画調整係係長 松枝 主範 (株)日本コンサルタントグループ 研究員 中村 桂 道立生涯学習推進センター 主査 久末 考勇
参加人数	14 名



【説明の様子】

2 プログラム概要

- 開 会
- 説 明「前回までの内容説明（村の魅力について）」

説明者 真狩村総務企画課企画調整係係長 松枝 主範

- 協 議「魅力を活かしたまちづくりを考えよう」

進 行 (株)日本コンサルタントグループ 研究員 中村 桂



【グループ協議の様子】

3 講座内容と参加者の様子

前回話し合った内容を再度確認した中で、いくつも出された魅力ある資源をどう活かすかについて、3チームに分かれ話し合いを行いました。

羊蹄山の魅力を活かしたまちづくりの発案が多くありましたが、羊蹄山を映すスポット探索を村民が行い、村への関心を高めることで、自ら村をPRしていく案や羊蹄山自然公園の再開発により、キャンプする人の聖地にする、パワースポットにするというアイデアも出されました。

また、ニセコ・倶知安で働く人が多くなり、真狩村は今、移住補助金を充実し、定住促進を行うべきだという考えも発表されました。

移住者、職種の違いなど普段話さない人同士やいつも顔を合わせているグループもありましたが、自由な意見交換の中からまちづくりの内容や効果をグループごとに発表し、全体で確認することができました。

最後に次回、「プロジェクトを動かそう」というテーマを確認し、閉会しました。



【グループ協議の様子】



【グループ発表の様子】

4 アンケートの結果

事業の効果を測るため、前回同様の項目を設定し、アンケートを事前と事後実施した。尺度として、関心の度合いを4段階の数字を選択する方法でその平均値を示している。「みらい会議」に参加する人は、少なからずむらづくりに関心が高く、今回のテーマ「魅力を活かしたまちづくり」について話し合うことで、より具体的なイメージを持つことができ、アンケートでもすべての項目で、0.2~0.5ポイント高くなった。最後のテーマ「プロジェクトを動かそう」では、まちづくりを行う上で何が大切かを考える機会となるため

	項目	事前	事後
1	真狩の未来に対する関心	3.5	3.8
2	まちづくりに参加したい気持ち	3.2	3.5
3	地域住民が主体的に活動することの必要性	3.4	3.6
4	役場と住民が協働することの必要性	3.4	3.9
5	地域住民が地域の未来を話し合うことの必要性	3.5	3.7

数値は参加者14名の平均値（小数第2位を四捨五入）

1 講座概要

日 時	令和2年2月5日(水) 18:30~20:30
会 場	真狩村役場
運 営	真狩村総務企画課企画調整係係長 松枝 主範 (株)日本コンサルタントグループ 研究員 中村 桂 道立生涯学習推進センター 主査 久末 考勇
参加人数	9名



【説明の様子】

2 プログラム概要

- 開 会
- 説 明「今回のテーマの説明」
 説明者 真狩村総務企画課企画調整係係長 松枝 主範
- 協 議「テーマごとに地域活性化のプロジェクトを考えよう」
 進 行 (株)日本コンサルタントグループ 研究員 中村 桂



3 講座内容と参加者の様子

今回は、前回議論された村の魅力の活用や日頃からやってみたいと思っていた地域活性化のプロジェクトを「食」「自然」「フリー」のテーマに基づいて、チームごとに話し合いをしていただきました。

参加者は1回目から参加した方々で、自己紹介することなく自然と話し合いが進み、目的やねらい、対象者やプレイヤーなど具体的な発案につながっていました。「食」チームは、村の美味しいものの知名度を上げるためのプロジェクトを、「自然」チームは、真狩フラワーセンターの遊休施設を活用した企画提案型利用で誰もがお金儲けを出来る仕組みを、「フリー」チームは、村特産のゆり根を7年かけ栽培し、おせちをつくる特番をつくるなど発想豊かな内容となりました。

今回の参加者が少なかったのは、自らプロジェクトをやらなければという考え方になり、尻込みしたのかなと思われました。

自由な発想を具体化するには、話し合いが必要で、様々な職種や多くの人を巻き込まなければ成り立たず、今後も「みらい会議」を継続実施していかなければと、強く感じられました。



【グループ協議の様子】



【グループ発表の様子】

4 アンケートの結果

前回同様の項目を設定し、アンケートを実施しました。今回のテーマ「プロジェクトを動かそう」では、地域活性化のプロジェクトをチームごとに発案していただきましたが、具体的に誰に何をどのようにアプローチするかなど、自らがまちづくりに参加するイメージを持つことができたと考えられ、事後のアンケート結果では、満足度の高いものとなった。

今後は、地域活性化の案として出されたプロジェクトを発案者とともに具体化することも必要であり、この輪を広げていくことが課題だと感じました。

項目		事前	事後
1	真狩の未来に対する関心	3.6	3.9
2	まちづくりに参加したい気持ち	3.2	3.8
3	地域住民が主体的に活動することの必要性	3.4	3.9
4	役場と住民が協働することの必要性	3.6	3.8
5	地域住民が地域の未来を話し合うこと の必要性	3.7	3.9

数値は参加者9名の平均値 (小数第2位を四捨五入)